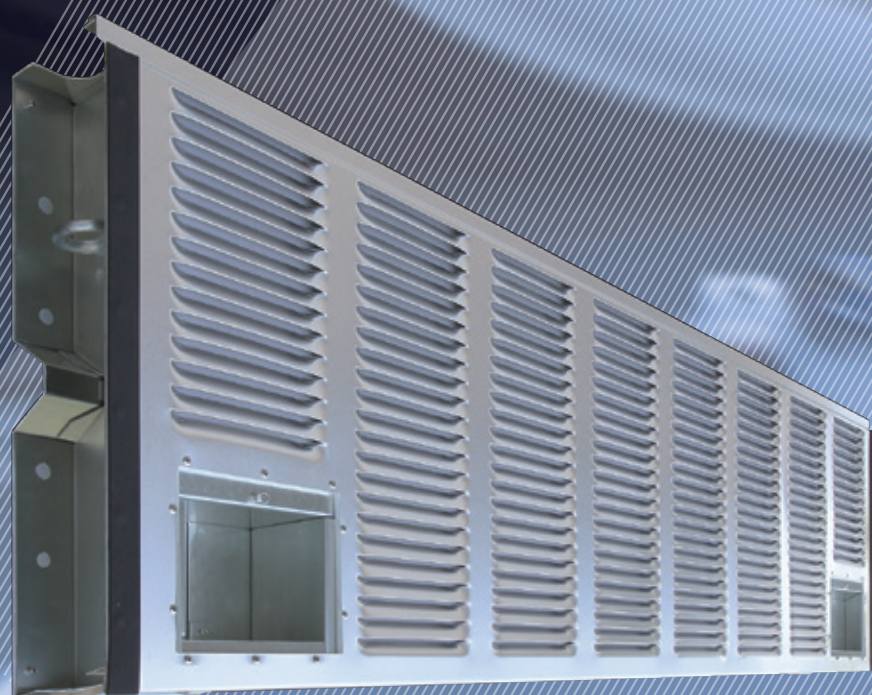


点検の作業効率を大幅に向上

# セーフチェックパネル



# 経年劣化したアンカーボルト、ナットの 点検・取替作業の効率を大幅に向上します

## アンカーボルト、ナットの点検、増締めが容易

前面に透明のアクリル板を使用しており目視での点検が可能です。アクリル板を取り外すことで、ボルト、ナットに直接触れての確認、取替作業及びゆるんだナットの増締め等を容易に行えます。

## 高い吸音・遮音性、高強度

低音域から高音域まで、高い遮音性能を有しており、風荷重 $3.0\text{kN/m}^2$ にも十分耐える設計となっています。

## 金属製遮音板と同形状

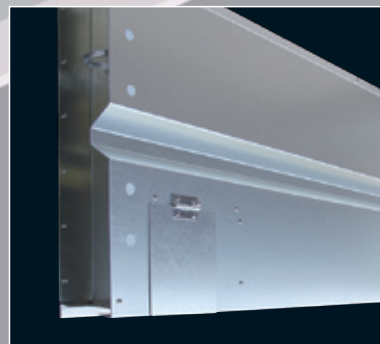
老朽化した金属製遮音板の更新をスムーズに行うことができ、設置後の違和感ありません。伸縮部等の特殊柱にも対応可能です。

## 生物・ゴミの侵入防止

前面はアクリル板で密閉、背面は蓋付きで隙間を極力無くす構造となっており、鳥などの生物・ゴミ等の侵入を防止します。



遮音板前面



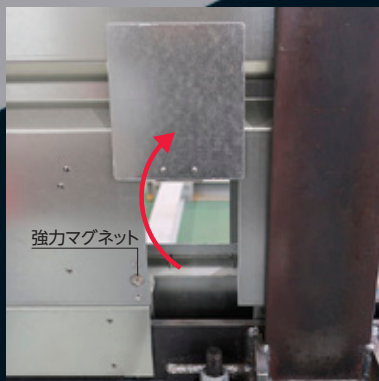
遮音板背面

緩み止め機能として、  
スマートハイパーロード  
ナット(M6)を使用

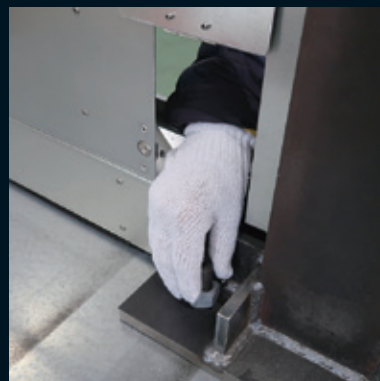


※振動による落下はありません

遮音板前面のアクリル板を外し、背面部の  
蓋を押し上げるだけで、容易に作業を行う  
ことができます。



※振動による落下はありません



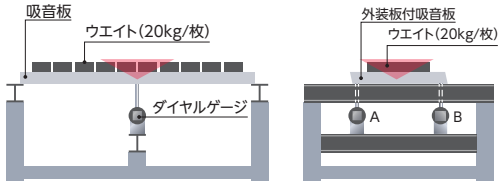
※スパナ等の工具も使用可能

## 載荷試験

風荷重をウエイトに置換えて、吸音板が3.0kN/m<sup>2</sup>の受けた場合のたわみ量を測定。

### ●測定方法

吸音板の両端を固定し、段階的に980N→1960N→2940N→1960N→980N→0N荷重までの変量をダイヤルゲージにて測定。

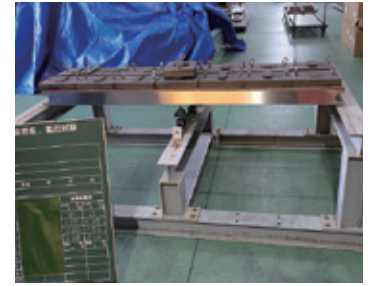


### ●試験体

試料寸法 500×1,960×95mm

### ●試験結果

荷重 (N)	たわみ量 (mm)	
	A	B
0	0	0
980	1.37	0.87
1960	2.00	1.55
2940	2.68	2.10
1960	2.16	1.63
980	1.56	1.06
0	0.27	0.26



## 遮音性能試験

### 音響透過損失

#### ●試験体

試料寸法 500×1,960×95mm

音源 1/3oct. 帯域雑音

#### ●試験結果

中心周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)
100	17.0	800	35.6
125	19.1	1,000	35.4
160	18.3	1,250	37.3
200	19.4	1,600	36.8
250	19.2	2,000	34.5
315	21.4	2,500	31.9
400	26.3	3,150	31.7
500	31.5	4,000	32.7
630	35.3	5,000	33.3



#### 残響室主要諸元

JIS A 1416 5.1Aに規定するタイプI試験室(残響室)を使用  
 残響室(音源室): 容積201m<sup>3</sup> 表面積206m<sup>2</sup>  
 残響室(受音室): 容積201m<sup>3</sup> 表面積206m<sup>2</sup>  
 試験体取付開口部寸法 3.70m×2.74m(垂直面)

### 残響室法吸音率

#### ●試験体

試料寸法 500×1,960×95mm

吸音材 はっ水シート付ポリエステル: 24kg/m<sup>3</sup>  
 背後空気層: t=33mm

音源 1/3oct. 帯域雑音

#### ●試験結果

中心周波数 (Hz)	吸音率	中心周波数 (Hz)	吸音率
100	0.34	800	0.95
125	0.49	1,000	0.86
160	0.66	1,250	0.77
200	0.83	1,600	0.70
250	0.87	2,000	0.72
315	0.96	2,500	0.69
400	1.08	3,150	0.67
500	1.02	4,000	0.66
630	1.03	5,000	0.64



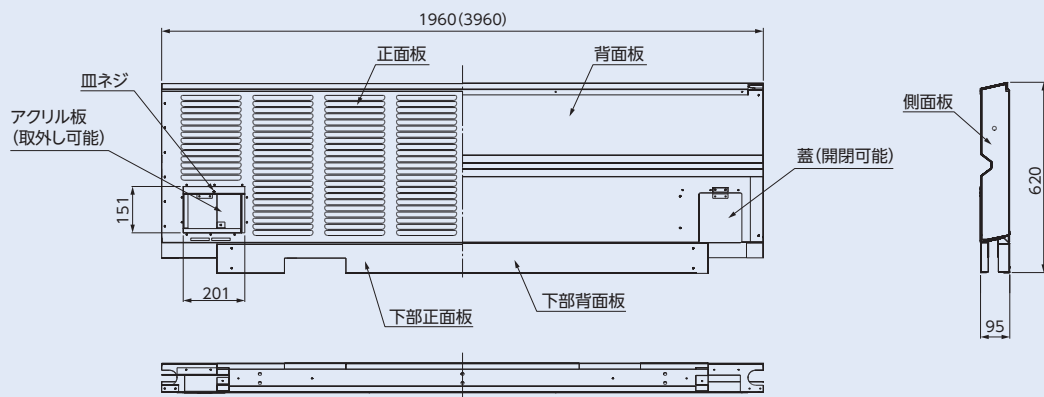
#### 残響室主要諸元

残響室: 不整形で内壁面は人工石研ぎ出し  
 室容積513m<sup>3</sup> 表面積382m<sup>2</sup> 床面積72m<sup>2</sup>

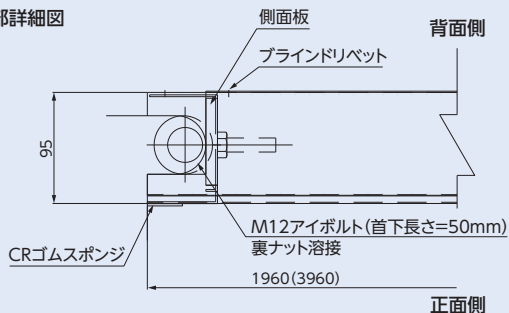
参考: 東・中・西日本高速道路(株)音響透過損失基準値(dB)・残響室法吸音率基準値

種類	試験項目	適用基準・試験方法	性能試験規定値
すべての遮音板*	音響性能	JIS A 1416	音響透過損失: 400Hzに対して25dB以上 1000Hzに対して30dB以上
吸音性を有する遮音板	音響性能	JIS A 1409	吸音率: 400Hzに対して0.7以上 1000Hzに対して0.8以上

\*遮音壁標準設計図集に掲載されているコンクリート製遮音板は除外する。



端部詳細図



名称	材質
正面板	JIS H4000 5052P
背面板	JIS G 3323 SGMH400 K27相当
下部 正面板	JIS G 3323 SGMH400 K27相当
下部 背面板	JIS G 3323 SGMH400 K27相当
蓋	JIS G 3323 SGMH400 K27相当
側面板	JIS G 3323 SGMH400 K27相当
吸音材	はっ水シート付ポリエステル 密度24kg/m <sup>3</sup>

名称	材質
亚克力板	150×200 : 12t(切欠・M4ネジ用孔付)
アイボルト	SS400またはS20C HDZT49
M12 六角ナット	SS400相当 HDZT49
ブラインドリベット	SUS : φ4
CRゴムスポンジ	クロロプレンゴム 5倍発泡 : 2×30
皿ネジ(十字)	SUS : M4×20
M4 六角ナット	SUS : M4



**東京製綱株式会社**  
 本社 エンジニアリング事業部 道路部  
 〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(澁澤シティプレイス永代)  
 TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550  
 支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・広島・鹿児島  
 エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州  
<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細  
<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>

